

平成 24 年第 6 回議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 24 年 12 月 13 日（木）

1 田村兼夫 議員

1	件名 非正規職員の待遇改善、またその職員全体に対する割合の限度について	
	(1)	現在、非正規職員の職員全体に対する割合はどの程度か
	(2)	非正規職員の割合が高くなれば、正規職員への負担も増大する。非正規職員の割合に上限を設けるべきと思うが考えをただす。
	(3)	非正規公務員の処遇改善の余地があると思うが考えをただす。
2	件名 公務員協約締結権について	
	(1)	職員の給与の決定に関し第三者（人事院等）による勧告は十分機能していると思うか。
	(2)	市役所職員の「公務員協約締結権」をどのように考えるか
3	件名 教育委員会の現行制度と教科書の在り方について	
	(1)	市の教育委員会はその責務を十分に果たしていると思うか。
	(2)	教育委員の任命には、被推薦者が考えを述べ、それに対する質問できる場を議会に設けるべきだと思うがどのように考えるか
	(3)	歴史教科書を国定教科書にしようとする考え方をどのように思うか。

2 良知義廣 議員

1	件名	牧之原市保育所の入所資格の規制緩和を
	(1)	市内において「昼間家庭で、大人が働いていない場合、児童は保育所に入れない」に該当するケースの有無、あればその子どもの対応をどうしたか。
	(2)	保育に欠けるということで希望する地元の保育所に入所できなかった子どもが、地元小学校へ就学してから仲間外れなどのいじめに遭うことも考えられるが、そうなった場合の責任の所在は。
	(3)	市内に住む子どもの保育所への入所は、保護者等の就労によって入所を判断するのではなく、すべての子どもが「保育を必要とする」という受け止め方を重視し対処しようとする考えはないか。

3 増田伸三 議員

1	件名	津波防災まちづくり計画について
	(1)	防災倉庫を高台へ移転する場合の行政支援は
	(2)	財源の確保と公債費適正化計画への影響の有無は
2	件名	景観行政団体について
	(1)	「景観行政団体」になったことの効果は
	(2)	景観計画の検討と策定は
	(3)	他の施策とどのような関係にあるか
3	件名	未利用財産の処分について
	(1)	売却計画の対象となっている財産とは
	(2)	計画の進捗状況は

4 中野康子 議員

1	件名	児童虐待と児童相談体制の充実強化
	(1)	児童虐待が増える要因はどこにあると考えるか。
	(2)	牧之原市の相談件数、相談体制、専門職の配置状況、関係部局との連携強化はどうなっているか。
	(3)	教育現場での取り組み状況、福祉こども部との連携はどうなっているか。
2	件名	発達障がい児の支援策
	(1)	幼児検診時に発達障がいの把握は可能ではないか。実績は。
	(2)	市はどんな支援策を講じているか。
	(3)	専門知識をもつ教員が指導しているか。また、発達障がい児指導を教員研修で実施しているか。

5 大石和央 議員

1	件名	災害に強いまちづくりについて
	(1)	東日本大震災のような地震・津波・原発事故の同時発生対策及び、これらにかかるコストについては、どのような考え方をするのか。
	(2)	津波対策・技法にはどのようなものがあるか。また人工構造物と植生（緑の防潮堤など）による対策の違いは何か。
	(3)	海岸線に防潮林堤を築くことの問題点と可能性について伺う。

6 糸田幸一 議員

1	件名	専門的な知識経験等を有する者として、職員を採用することについて
	(1)	自衛官キャリアの採用を予定している。本来、自衛官は、軍事の専門家であって、防災面のエキスパートではない。地方自治体が自衛官キャリアの天下り先になっていいのか。
	(2)	部長職待遇での採用と聞くが、費用対効果について説明を求める。
	(3)	条例制定後は、「部長職待遇の任期付職員」の採用であっても市長の専任事項となるのか。議会に意見を求める必要があると思うがどうか。